

「こども環境サミット札幌」の開催について

6月27日に開幕する「こども環境サミット札幌」の参加国がまとまりました。このイベントは、モエレ沼公園をメイン会場に、小学5年生から中学3年生までの子ども達が国内外から集い、地球環境の未来についてのメッセージをまとめ、世界に向けて発信するもの。このメッセージを、最終日のセレモニーで環境大臣に手渡し、北海道洞爺湖サミットとの連携を図っていきます。

1 開催テーマ

「地球の未来へ、いま、僕たち・私たちにできること」

2 開催期間

平成 20 年 6 月 27 日(金) ~ 29 日(日)

3 会 場

モエレ沼公園、サッポロさとらんど、札幌サンプラザ

4 参加国

11 カ国（オーストラリア、中国、ドイツ、インド、フィリピン、韓国、ロシア、シンガポール、タイ、アメリカ、日本）

5 参加者・参加人数

小学 5 年生から中学 3 年生までの児童・生徒 102 人（海外：40 人、国内：62 人）

海 外：各国から 4 人ずつ

道 外：仙台市、川崎市、京都市、広島市、北九州市（合計 15 人）

道 内：壮瞥町、函館市、上川町、標茶町、旭川市、室蘭市、苫小牧市、釧路市、石狩市、夕張市（合計 25 人）

札幌市 22 人

6 主 催

こども環境サミット札幌実行委員会（実行委員長：上田 文雄札幌市長）

構 成：札幌市、環境省、北海道、札幌商工会議所、社団法人札幌青年会議所、北海道新聞社

7 主なイベント

レクチャータイム（基調講演）

アルピニスト・野口 健氏がグローバルな視点から地球環境の課題を投げ掛けます。

ワークショップ

3 日にわたり、各国から集まった子どもたちが環境をテーマに意見交換を行い、最終日のメッセージ発表に向けて準備を進めます。

宣言セレモニー

3日間の活動の成果を、地球環境に対する「メッセージ」としてまとめ、参加した子どもたちがそれぞれの国の言葉で読み上げます。また、このメッセージをセレモニーに出席する鴨下環境大臣に手渡し、北海道洞爺湖サミットとの連携を図っていきます。

赤い地球儀セレモニー

ことし2月2日に円山動物園をスタートした環境イベント「ストップ！温暖化子どもメッセージリレー」の「赤い地球儀」がこの日のセレモニーで「青い地球儀」となりゴールを迎えます。

子どもたちが地球環境について考えるきっかけを作るため、具体的な地球温暖化防止行動の実践を呼び掛けるリレーイベントで、環境省チームマイナス6%主催。リレーで回った各地で、温暖化が進んだ地球をイメージした「赤い地球儀」に、地球温暖化防止への願いを込めた青いシールを貼り付けてもらうことで「青い地球」に塗り替えていく。



【「赤い地球儀」に青いシールを貼っている様子】

問い合わせ先

環境局環境都市推進部推進課 森、菊池

電話：211-2877